

畜産業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	16～ 17	厩舎2階でバッカン受け入れ作業中、バッカンを落とす穴から落下した。	50	10 ～ 29
1	20～ 21	牛舎内での搾乳作業後、洗車機でパーラー室を洗浄するためノズルを持ちながら階段を上ったところ、足を踏み外して2～3段目の高さから落下した。その際に右膝上部を階段に強打し、翌日に腫れてきた。	42	1～ 9
1	13～ 14	かくはん機のメンテナンスを行う為、グリスとグリスガンを手を持ち、脚立で側壁に上がり、棧づたいに移動中にバランスを崩し約2mの高さから墜落した。ヘルメットは着用していたが、安全帯はしていなかった。	41	30 ～ 49
1	14～ 15	寒冷斜ネットを取り付け中、7段の脚立から降りようとした際に足を踏み外して落下し、左あばら骨を骨折し、肺に穴があいた。	61	1～ 9
1	14～ 15	当事業場にある鉄工ヤード内において、天井クレーンの稼働域上に、天井から垂れ下がり障害となっていたブレースを外すため、被災者が油圧ショベルのバケット背に乗り、ブレースをガス切断していた。その際、切断したブレースが油圧ショベルの運転者へ落下し、それを振り払った手が操作レバーに触れ、油圧ショベルが大きく旋回し、バランスを崩した被災者が足から落下し負傷した。	54	10 ～ 29
1	13～ 14	自社作業場で、白砂の石を除去する作業の準備をしていた。作業場の雨よけのスレートを除けようとした際、足を踏み外して、そのまま1.5m下へ落下した。普段は1人でする作業のため、カバーとしているスレートを引っ張るだけなので、すき間を意識することはない。今回はたまたま2人で作業したため、すき間の存在を忘	64	1～ 9

		れて移動してしまい、足を滑らせた。		
2	14~15	会社敷地内の豚舎の屋根の雪下ろしをしていて、約7mの高さから転落した。	61	1~ 9
2	9~10	当牧場にて競走馬を騎乗して調教をしている際に、騎乗していた馬が物見をして木の影に馬が驚き急に止まった。その勢いで落馬し右半身から落ちたため大腿骨の骨折となった。	40	30 ~ 49
2	9~10	Cコースにおいて取扱馬試教中、ゲートを出た後、該馬が突然跳ねた為バランスを崩し斜め前方へ落馬し、左肩部、頸部、左肘を負傷した。	39	10 ~ 29
2	13~14	調教馬場で乗りかわって残り1周で馬が暴走し、手綱をはなさず鐙もぬげず頭から落ちて引きずられた。	16	1~ 9
2	9~10	原卵受入口のプラットフォームで上のコンテナ搬送ベルトを見上げていたところ、下に注意が行かず90cm程度の高さから地面に飛び降りた。当初はくじいた程度と考え掛かりつけの整骨院に行ったが診断がつかないため病院に行くように指示され、通院したところ足の骨折であった。当日は晴れ、気温はプラスであった。凍結はしていなかった。	38	50 ~ 99
2	7~8	馬場Cコースにおいて取扱馬の騎乗調教中、該馬が突然斜行したため、落馬し柵に当たり、右腰背部を強打負傷した。	37	—
2	13~14	鶏舎内において、被災労働者が出荷後の鶏舎洗浄作業中に着用していた作業着のズボンが巣箱付属の集卵ベルトを通す金網部分（地上約40cm）に引っ掛かり転倒し左大腿部を負傷した。安静の為に帰宅しようとシャワー室から延びる階段を下りていた際によろけたため、階段横の土手（高さ約220cm）を滑り落ち、階段下にある側溝（幅50cm×深さ50cm）へ転落しさらに左大腿部を負傷したものである。	67	100 ~ 299
2	11~12	鶏舎内の雛の仕切り作業中、置いてあったプラスチック製品を巻いたもの（高さ約30cm）に乗って、取り付けようとしていたところ、足元がぐらついて、転倒し、右足を負傷した。	52	1~ 9
		台風で壊れた倉庫の屋根を修理中、垂木が折れ3m位落ちて骨折した。ヘルメット		10

2	14~15	はかぶっていたので頭は大丈夫だった。	59	～ 29
3	8~9	屋内走路で育成馬の調教中、突然立ち上がり落馬し、左側肋骨骨折及び右肩負傷を負った。	52	30 ～ 49
3	9~10	被災者は当牧場にて、競走馬の育成・調教に従事している。牧場内で2歳牡馬を騎乗訓練している際に馬が突然立ち上がり、耐えきれず落馬し、着地の際に右足を強く打ち負傷した。	36	50 ～ 99
3	14~15	4tトラックにシートを掛ける作業中、雨が降っていたため足を掛けていたところが滑り、高さ約1.5mの高さから右足から地面に落下し負傷した。	59	1～ 9
3	6~7	角馬場において、取扱馬の騎乗調教中、該馬がつまずき人馬ともに転倒し、頸部を負傷した。	63	10 ～ 29
3	9~10	坂路コースにおいて取扱馬の騎乗調教中、該馬が興奮して暴れたため落馬し、左胸部（肋骨）を負傷した。	59	10 ～ 29
3	11~12	当社養鶏場敷地内にて、樹木の伐採の作業中、高い所の枝を伐採するため乗っていた脚立（高さ4m位）から誤って足を踏み外し、地面に落下し負傷した。	67	10 ～ 29
3	14~15	プラットホームで作業中に段差を下りる際、足場になっていたブロックが転がり転倒し、地面に頭を強打した。	57	1～ 9
3	9~10	馬場にて騎乗調教中、馬が暴れたため落馬し、左足から落ちて左ひざ左足首を痛めた。	22	50 ～ 99
3	7~8	取扱馬の乗運動中、該馬が突然立ちあがり人馬ともに転倒し、右足踵部分を負傷した。	46	10 ～ 29

3	7~8	取扱馬の乗運動中、該馬が突然暴れて振り落とされ、左大腿部を負傷し、左第1指を該馬に踏まれ負傷した。	45	10 ～ 29
4	7～8	騎乗調教を開始しようと場内厩舎前で馬にまたがった際、馬が突然暴れ厩舎内に向かって走り出し、騎乗したままの状態ではなんとか止めようとした。その時に厩舎の天井の梁に頭部をぶつけ落馬した。	40	10 ～ 29
4	8～9	トレーラーに積まれた牧草（地面からの高さ約3.5m、一梱包重量30kg）を、フォークリフトのパレットに積み替える作業中、トレーラーの上で牧草に手釣をかけ移動させようとしたところ、牧草から手釣がはずれてバランスを失い、体勢を立て直そうとしたが、体の右側を下にした状態で転落し負傷した。	27	50 ～ 99
4	5～6	厩舎前において取扱馬の乗運動中、該馬が突然立ち上がり人馬とも転倒し、右腰部（右骨盤）と左足踵を負傷した。	29	10 ～ 29
4	9～ 10	厩舎付近の馬運動場付近において、調教終了後の帰厩の際に該馬が突然立ち上がり落馬し、腰部及び頸部を強打した。	39	10 ～ 29
5	10～ 11	農場堆肥場にて鶏糞をおろした後、ダンプ後方で清掃し、開閉部に右足を掛けておりようとしたところ足を滑らせ転倒し、開閉部に右腕と右肋骨を強打した。	41	10 ～ 29
5	13～ 14	調教場にて馬の調教中、馬上でバランスを崩し落馬した。地面に頭部を打ちつけ脳震盪の症状があらわれた。馬体に着用していた鞍がずれてしまったことが原因である。	27	300 ～ 499
5	14～ 15	農場鶏舎内にて餌といの中のを均す作業をしていた時、足を乗せていた4段式ケージの2段目餌とい（高さ約50cm）から地上に降りる際に左足首を負傷した。	51	1～ 9
5	8～9	自厩舎内、厩舎前において乗運動中、該馬が厩舎作業中の人に物見し立ち上がったため落馬し、着地した際に右足を衝撃により負傷した。	43	10 ～ 29

6	16～ 17	豚舎の天井裏を通り、豚房内の給餌器に飼料を搬送するドロップパイプの緩みに気づき、修理のため豚房柵に足をかけ、上り口より天井裏に上り、緩みを締め直した。修理が終わり下に降りようと豚房柵に足を掛けた際、足を滑らせ豚房柵の上部に股間から尾てい骨にかけ強打した。	44	10 ～ 29
6	7～8	馬場において取扱用の騎乗調教中、該馬が突然逃避しながら斜行したため落馬し、左肘を負傷した。	32	10 ～ 29
6	11～ 12	本社敷地内の堆肥捨場にて、堆肥を一輪車にてトラックに積み込む際、足を踏み外して転倒し、腰を打ちつけた。	46	10 ～ 29
7	9～10	作業場にて、貯水タンクの位置調整中に、高さ約8mのタンク上から足を滑らし、地面に落下した。	41	1～ 9
7	11～ 12	牧場の馬場において、被災者が馬の騎乗調教中、馬が何かに驚いて急に横跳びした為バランスを崩して落馬し、その際に地面に頭部を強打して負傷した。	60	1～ 9
7	3～4	厩舎前において、騎乗の際に該馬が突然動き出したため落馬し、その際に右足を該馬に踏まれ、同部を負傷した。	49	10 ～ 29
7	15～ 16	牧草を育てるための畑を購入し、畑に置かれていた材木を撤去する作業の補助をしていた。運び出しやすいように、等間隔に置いた材木の間を移動中、よそ見をして足元が疎かになり、畑の横の側溝（幅約1.5m、深さ1.5m）に転落した。落ちた際に側溝の床に手を着いてしまい、左手首を骨折する負傷をした。	50	1～ 9
9	14～ 15	馴致中、ウォーキングマシン内で騎乗していた所、馬が突然立ち上がり、後方に転倒。ウォーキングマシン内の後壁に投げ出される形で落馬。その際に、右肩から背中にかけて激痛を感じた。	31	300 ～ 499
9	16～ 17	従来からある自社敷地内の物置小屋の増設を2名で本来作業の他に行っていた。当日降雨の為一旦その作業を中断していた。雨が止んだ為、本人が1名のみでその作業を再開した。その際、軒高約2mの屋根に長さ約3mのアルミはしごを立てかけ	63	1～ 9

		て登り、ブルーシートを張ろうとしたところ、バランスを崩して地面に落下し頭部を強打した。		
9	15～16	馬場にて騎乗練習中に馬が暴走し、ラチに衝突し前方へ落馬。背中から地面に着地した為、背中・腰・左手（薬指）を強打し痛めた。	24	50～99
9	5～6	馬運動場において、乗運動に向かうため騎乗した際、該馬が嫌がり突然走りだして落馬し、左足を強打負傷した。	48	10～29
9	5～6	乗運動中、該馬が突然暴れて落馬し、腰部を強打負傷した。	44	10～29
10	6～7	敷地内にて、急に馬が立ち上がり落馬をして、腰から落ちたところに馬があおむけに乗っかかり、腰の骨を折った。	38	1～9
10	15～16	養鶏場鶏舎内で、養鶏機器の掃除作業を行っていた。2段目（1.2m）から、1段目に降りる時、足を掛けた餌桶（30cm程度の高さ）から足を滑らせ、落下した。	43	10～29
10	10～11	当牧場にて競走馬を調教のため、騎乗にて反路を走行中に馬がバランスを崩し、落馬してしまった際に右足を打ち痛めてしまった。	38	
10	9～10	角馬場において、騎乗調教中、該馬が突然暴れ跳び背負い投げのように前方に投げ飛ばされ落馬、頸部を馬場にぶつけ負傷した。	36	10～29
10	6～7	騎乗調教中、該馬が突然心臓麻痺を起こし、急に止まり倒れた際、バランスを崩して落馬、左肩と左肋骨を負傷した。	37	10～29
10	16～17	豚舎糞尿ピット0パイプ掃除中に豚舎屋外ピット（幅1m、高さ1.2m、長さ60m、コンクリート製）を飛び越えようとした時、誤って転落し、ピット線に左骨盤部を強打し骨折したもの。	35	1～9

10	9～ 10	台風対策のため、牛舎内の壁の上で作業をしていた時にバランスを崩し、3m下の地面へ落下し、左足首を痛め、左足踵を骨折した。	44	1～ 9
10	6～7	厩舎を出てコースへ向かう馬道で競走馬に騎乗しているときに馬が突然立ち上がり、騎乗したまま馬と一緒に後方へ転倒し馬の下敷になった。	34	50 ～ 99
10	8～9	馬運動場において騎乗調整中、該馬が突然暴れて落馬し、右手の第5指を強打負傷した。	58	10 ～ 29
10	6～7	騎乗調教中、該馬が突然走りだして埒にぶつかった際に落馬し、左足を強打負傷した。	42	10 ～ 29
10	7～8	鶏舎内バックヤードを歩行中、外されていた点検用溝蓋に気付かず点検用の溝上に落下した。	54	1～ 9
10	15～ 16	牧場内にある牛舎の屋根の古いところを修理するため、屋根に上がって作業していた。屋根の所々に明かり取りのための透明な部分があり、薄いので気をつけていたが、汚れていて黒っぽく見えたため、誤って踏み抜いてしまい、高さ約5mのところからコンクリートの通路に落下した。左手首を複雑骨折した。	64	30 ～ 49
10	16～ 17	業務中の被災である。台風明けの養鶏場の作業が一段落したあと当工場の外にある鶏舎の糞をショベルカー（タイヤ付小型特殊自動車）のポケットを利用してその鶏舎の奥まで固めておく運転作業を繰り返していた時の被災である。バックをしながら踏み込んだフットペダルに足が絡まったか、そのまま当該敷地外の農道脇の溝に落ち込んでしまう被災となった。	56	10 ～ 29
11	7～8	競馬場内ロンギ場で、1才馬（メス、鹿毛）を馴致中、同馬が突然暴れたため右肩から落馬し、右肩を地面に打ちつけ負傷した。	34	1～ 9
11	14～ 15	会社敷地内の倉庫の屋根の修理のため、壁に立て掛けた梯子を上っていたところ、梯子が凍った地面に接地していたために、梯子が滑り、そのはずみで、はしごの2.5m位の高さから、地面に足から落ちた。	49	1～ 9

11	11～12	自厩舎付近、馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が突然躓き前方へ投げ出され落馬し、背部から馬場に落ちた際に負傷した。	49	10～29
11	8～9	角馬場において騎乗調教中、該馬が突然斜行し尻っぱねをした際バランスを崩して落馬し、馬場に飛ばされた際背部と左手甲部分の骨を打ち、負傷（骨折）した。	57	10～29
11	5～6	馬運動場において取扱馬の調教に行く途中、該馬が突然引っくり返り落馬し、その際背部、左臀部打撲、左肋骨・右手親指を馬場に打ち負傷した。	33	10～29
12	13～14	当社農場内に於いて、機械のチェックをする為に機械室に入ろうと、4段ある階段を下りようとした際、誤って1階上からすべり落ち、左足首を骨折したものである。	40	10～29
12	15～16	牧場内の別の牛舎へ移動する為、軽トラックで下り坂の砂利道を走行中、轍を踏んでハンドルを取られ、ブレーキを踏んだが、砂利で滑って前方の土手から5～6m下の田んぼに転落し、顔面と首を打撲、左足に裂傷を負った。	56	50～99
12	10～11	当社内事務所において、年末の大掃除を行っている時、ほうきを使い壁面のくもの巣払いをしていたところ、玄関階段部分（全6段）で足をふみ外し転んでしまい、下までころげ落ちてしまった。	69	50～99
12	7～8	逍遙馬道において、調教終了後の乗運動中、該馬が突然暴れた際に落馬し、左膝を強打し負傷した。	60	10～29
12	7～8	逍遙馬道において騎乗調教中、該馬が突然立ち上がったため落馬し、左腕を強打し負傷した。	39	10～29
12	11～12	当社牧場内において、競走馬の運搬のため常歩をさせていたところ、急に馬が跳ね、馬場に叩きつけられるように落馬し、負傷した。	25	10～29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html